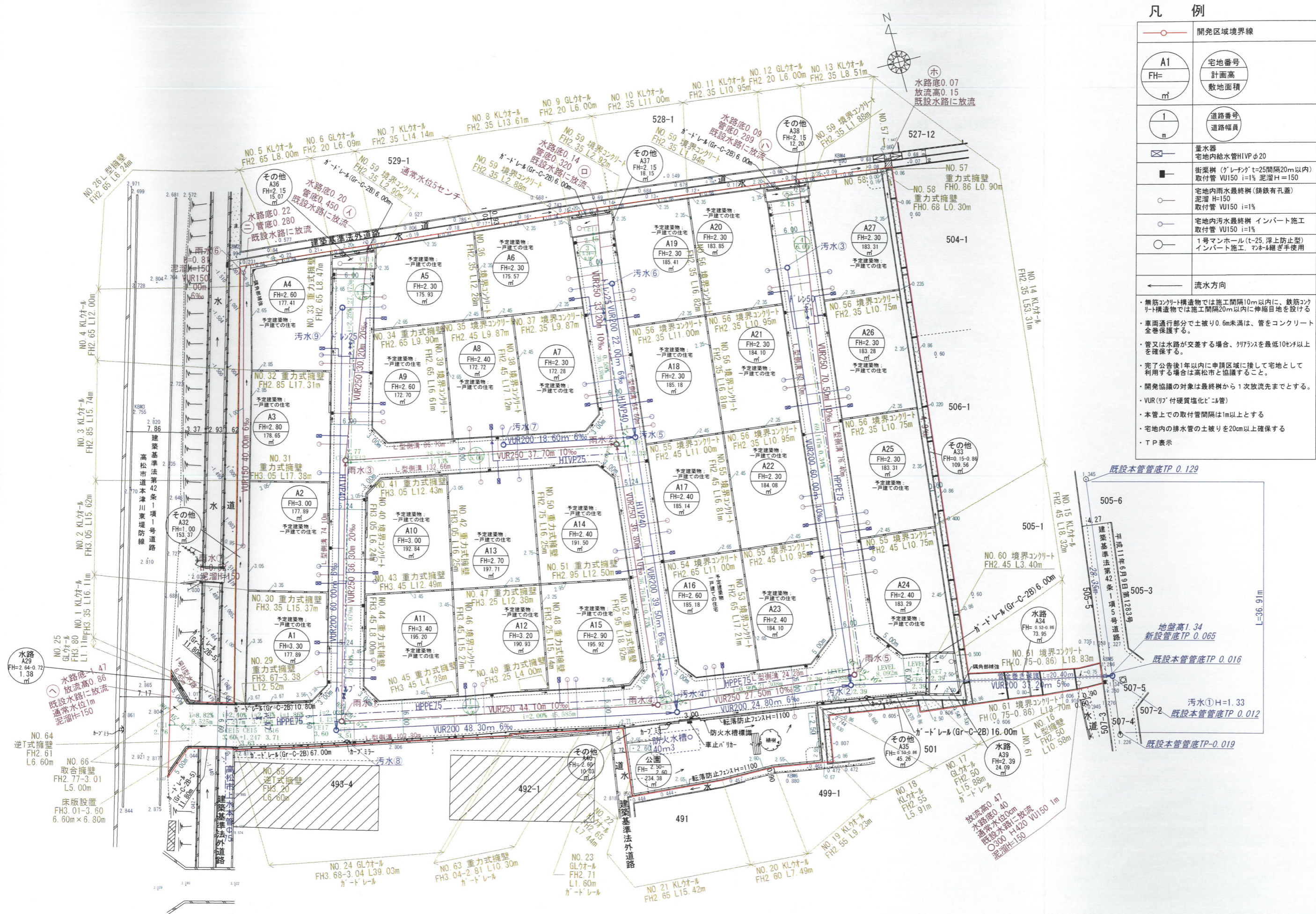


# 土地利用計画図



凡例	
	開発区域境界線
	宅地番号 計画高 敷地面積
	道路番号 道路幅員
	量水器 宅地内給水管H1VPφ20
	街路樹 (グレーチングt=25間隔20m以内) 取付管 VU150 i=1% 泥溜H=150
	宅地内雨水最終樹 (鍍鉄有孔蓋) 泥溜 H=150 取付管 VU150 i=1%
	宅地内汚水最終樹 インバート施工 取付管 VU150 i=1%
	1号マンホール (t=25, 浮上防止型) インバート施工, マンホール継ぎ手使用
	流水方向

・無筋コンクリート構造物では施工間隔10m以内に、鉄筋コンクリート構造物では施工間隔20m以内に伸縮目地を設ける  
 ・車両通行部分で土被り0.6m未満は、管をコンクリート全巻保護する。  
 ・管又は水路が交差する場合、かつらぎを最低10cm以上を確保する。  
 ・完了公告後1年以内に申請区域に接して宅地として利用する場合は高松市と協議すること。  
 ・開発協議の対象は最終樹から1次放流先までとする。  
 ・VUR (リブ付硬質塩化ビニル管)  
 ・本管上での取付管間隔は1m以上とする  
 ・宅地内の排水管の土被りを20cm以上確保する  
 ・T.P表示

開発許可年月日

第 平成

年

月

号 日

申請者

高松市香西  
代表取締役  
徳田芳和

作成者  
住所・氏名

高松市番町三丁目11番12号  
土地家屋調査士  
谷澤幸

